



ConfD および NETCONF API に関するトラブルシューティング

- [ConfD および NETCONF API に関するトラブルシューティング \(1 ページ\)](#)

ConfD および NETCONF API に関するトラブルシューティング

セキュリティ上の理由から、ESC のデフォルトでは ConfD の開発者ログと NETCONF トレースログが無効化されます。

デバッグには次の 2 つのログを使用します。

2 つのログを手動で有効にするには、ESC VM で次の ConfD の構成ファイルを開きます。

```
$ sudo vim /opt/cisco/esc/esc_database/esc_production_confd.conf
```

次のログで以下のように手動で変更します。

enabled を true に変更。

```
<netconfTraceLog>
  <enabled>true</enabled>
  <filename>/var/log/esc/confd/netconf.trace</filename>
  <format>pretty</format>
</netconfTraceLog>
```

このセクションを変更して、開発者ログを有効にします。

enabled と file.enabled の両方を true に変更。

```
<developerLog>
  <enabled>true</enabled>
  <file>
    <enabled>true</enabled>
    <name>/var/log/esc/confd/devel.log</name>
  </file>
  <syslog>
    <enabled>>false</enabled>
```

```
</syslog>  
</developerLog>
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。